

【CHANGファミリーハウス】十一月は新学期。進学、就職、再会、それぞれの近況

年の3月に移転が完了したCHANGファミリーハウス。昨年6月にママが急逝し、政府指導による孤児院の解散危機、一緒に暮らしていた仲間が離れ離れになるなど悲しいことが続きました。それでも残ったメンバーでへえ合つて全てを乗り越えました。新しい家、心機一転、今や子ども達はとても落ち着いて気持ちで生活をしています。

〔抗期だった中学生の女の子たちも、昔の素いな娘たちに戻ってくれました。カンボジア・11月は新学期、昨年は留年してしまいました。〕

だが、今年こそスレイナは日本語学校へ、ス・イニ、スレイウイ、マイマイは高校へ進学します。



11月に進学する予定の中学生。仲良く同じ部屋で寝てます

「本語学校を卒業するフンからは、「日本に就きたいから先生と会って下さい」と日本

語のメールが届きました。

早速、彼の学校へ行き、先生と三者面談をしました。採用試験を受けた岡山県の優良企業。先生も働いていたことがあるということだったので、とりあえずはカンボジア国内の通訳会社に就職してもらい、3年くらいいたらCHANGのスタッフにしようかとも考えてます。中学の時から見ている彼がいよいよ社会に出る時になったんだと感慨深いです。



日本企業の採用試験に挑んだフン

フンより一年先に日本語学校を卒業しているラウは相変わらずスナンバン屋の店長です。店舗での売り上げはまだまだですが、近所の工場への出張販売が好調です。そして彼は日曜になるとボランティアで子ども達に日本語を教

ているのです。おとなしくてとても優しい子なので、モノを売る仕事より、先生の方が向いているのかもしれない。もう少し焦らせずに将来を考えていけばいいでしょう。



パン屋の店長をしながらゆっくりと将来を考えるラウ

そして2年ほど前に孤児院を出されたポツパーを、ファミリーハウスに連れて行きました。サブライズの再会にみんなビックリです。特に年が近く、姉妹のように仲のよかつたリーリーとはずつと一緒で過していました。気の強いこの二人が揃うと最強です。この日は村の子ども達の誰よりいばっていました。

最年少だったポツパー、母親から捨てられるように孤児院に預けられ、今度は政府の考えで遠い親戚のもとへ。こんな小さい子にできることは何もないのです。これからもずつと守っていきます。

【ラオス】市長から感謝状

昨年から進めていたラオスのワットシーアンボンスクールの、浄水器と貯水槽の修理、外壁のペンキ塗り、机の張り替えが完了しました。校長も子ども達も安全な水が飲めて、きれいになった校舎で勉強できると、とても喜んでくれました。そして首都ビエンチャンのシーサッタナー市長から感謝状までいただきました。

後発途上国であるラオスでは、子ども達の教育環境にまで予算が及びません。同じ地域にある小学校では屋根が腐つてしまい、雨が降ると授業ができなくなってしまうそうです。更に周辺には幼稚園が全くなくて困っている親子がたくさんいるということです。何ができるかは分かりませんが、9月に訪問して現地の状況を確認していきます。



首都ビエンチャンのシーサッタナー市長から感謝状

【CHANGツアー 2019夏】タイとベトナムで開催

今年のツアーはタイへ。一日目は岐阜県大垣ライオンズクラブが主催する「空飛ぶランドセル」のセレモニー。タイ最大のスラムがあるクロントウイスラムの子ども達へ600個のランドセルを届けました。今年嬉しかったのは、ランドセルを寄付してくれた中学生が二人参加してくれたこと。6年間の素敵な思い出がいっぱい入ったランドセルを本人たちから手渡し。同じランドセルに、今度はタイの子ども達がたくさん思いを詰めてくれるでしょう。

二日目はCHANGの協力団体、タイの子供財団へ。ここには90人の幼児が保護されて暮らしています。先進国となりつつあるタイですが、それは一部の地域、一部の人々。いまだに捨て子は後を絶たず、経済的な理由で親子で暮らせない家庭はたくさんあるのが現実です。



日本とタイの絆がもっと深くなるように、600個を手渡し



折り紙に大喜ぶするタイの子ども達

そして新潟県立大学RUENGの皆さんのツアーもアテンドさせていただきました。タイの子供の村学園では、一緒にかわいいボスターを描いて、おしゃべりにネイル。お昼ごはんもお手洗いし、CHANG知育教室でお勉強と、大忙しでした。優しいお姉さんたちがずつと一緒に過ごしてくれて子ども達は大喜びです。

そしてベトナムへ。マイアムデツツェンへは大量に物資を届け、お菓子をプレゼント。テレサファッシンでは盲目のニーエツと15才の少女のピアノ演奏に感動。なんと二人はCDデビューしたのです。先生が「日本で演奏したいので計画してほしい」と何度も頼んできました。この夢を実現させたいと思います。

最後は進級のお祝いに靴屋へ。施設の中で支援者と遊ぶことは多いですが、一緒に外に出ることは中々ありません。お気に入りの靴を選んで、手を繋いでお散歩。子ども達にとって忘れられない思い出になったことでしょう。



目の障害を乗り越えてCDデビュー、日本での演奏が夢



大学生が集めてくれた物資とネイルで大盛り上がり



大忙しのパパ、毎日たくさん子供に囲まれて幸せです



ポツパーとリーリーが再会、村いちばんの最強コンビ

CHANGファミリーハウスでは幼稚園と村のコミュニティもやっていますので、多い時は100人くらいの子供達で盛り上がりつてます。ヒエツッパパもご飯を作つて、劇や踊りを教えて大忙しです。相変わらず元気ですよ。